

科目名	集団健診論（がん専門医師養成科目）	
科目責任者	藤 野 善 久	（環境疫学 教授）
担当者	大河原 眞	（環境疫学 講師）
担当者	大久保 直紀	（環境疫学 助教）
開講時期： 1年次	単位数： 0.25 単位	時間数： 90分× 2 回
● 科目の教育目標 一般目標（GIO） 健康診断結果は個人の健康管理に役立てる目的とは別に、職域の健康管理対策として、疾病予防や健康増進対策を企画・立案し実行する際のベースライン情報を得る目的がある。すなわち集団として評価する別の目的があることを理解し、そのための方法を理解する。 行動目標（SBOs） 1) 健診と検診の違いおよび職域健診の意義と法的根拠が説明できる。 2) 集団健診におけるテーマを見出すことができる。 3) 集団健診におけるデータ収集、整理、分析、解釈する際の疫学的方法論を説明できる。 4) 集団健診におけるスクリーニングテストの有効性評価の方法と意義を説明し、データの解釈ができる。 5) 集団健診における医療経済学的評価の方法と意義を説明し、データの解釈ができる。 6) 集団健診の評価を通じた保健医療施策の提言が行える。		
● 評価方法	プレゼンテーション内容40%、討議への参加度40%、課題レポート20%等で総合評価する。	
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。	